

# PEDAL POWER

**2** PLUS

パワーサプライ

取扱説明書

# VOODOO LAB パワーサプライ

## Pedal Power 2 Plus

### はじめに

---

Pedal Power 2 Plusは最高級のギター/ベースエフェクター用パワーサプライです。

9V出力の8つの出力端子は電池駆動エフェクターであればどんなタイプの物でも電源供給が可能です。

全ての出力端子は完全独立型（アイソレート）に加えショートサーキットプロテクション、電源フィルター、安定化電源回路（リニア電源）を装備。結果としてハムノイズがない安定した電源供給を約束します。

Pedal Power 2 PlusはLINE6などの高い消費電流を必要とするエフェクター用に高電流出力端子を2つ装備しています。更に電池の消耗具合をシミュレートする出力端子を2つ。

別売りのダブルケーブルを使えば2つの出力端子を繋げて18Vや24Vの出力も可能です。

Voodoo Lab Pedal Powerをご使用になる前にこの取扱説明書をお読みください。間違った使い方はPedal Power及び、エフェクターの故障につながります。

### 重要：

---

Pedal Powerをご使用する場合は100V 50/60Hzの環境でご使用ください。その他の電圧で使用いたしますとPedal Powerの故障の原因となります。

### ご使用になる前に

---

Voodoo Lab Pedal Powerには以下のものが同梱されています。

Pedal Power 2 Plus本体 (1)

保証書 (1)

安全上のご注意 (1)

電源コード (1)

DCケーブル:

5.5mm x 2.1mm LL “黒”センターマイナス コネクター (6)

5.5mm x 2.1mm LS “黒”センターマイナス コネクター (2)

5.5mm x 2.5mm “赤”センタープラス コネクター (1)

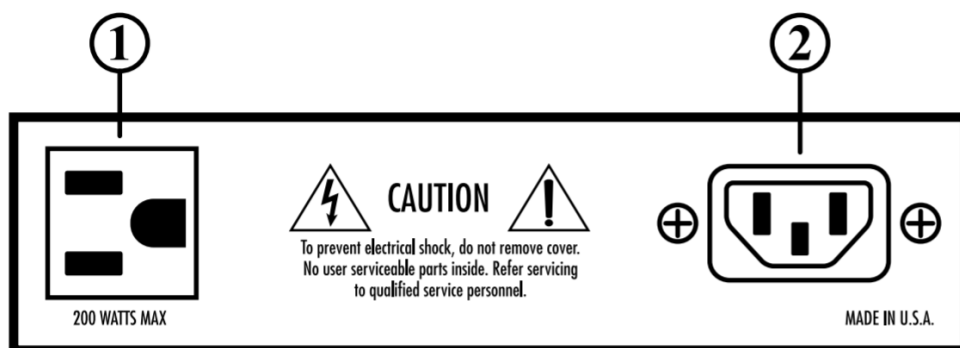
3.5mmミニプラグ (1)

9V電池用バッテリースナップ (1)

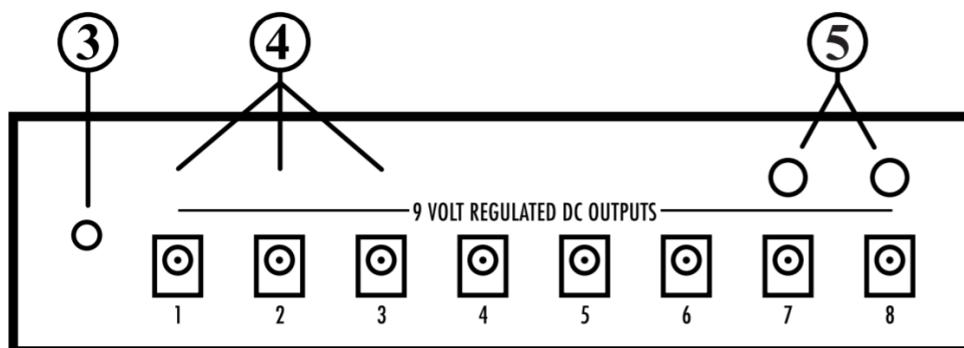
注意) 保証書は失くさず保管してください。

## 各部の機能

1. ACアウトレット。MIDIフットコントローラーや電源を必要とするエフェクター用にお使いください。最大200Wまで出力できます。絶対にアンプは繋げないでください。
2. ACインレット。電源コードを繋げます。



3. 電源インジケータ。Pedal Powerに電源が入るとLEDが点灯します。
4. 9V出力端子ポート。(8口) DCケーブルのプラグをここに繋げます。



5. SAGコントロール。電圧を9V～4Vに変換し電池の消耗具合をシミュレートできるツマミです。
6. DIPスイッチ。このスイッチで電圧を変換できます。スイッチの1～8はDC出力端子の1～8に該当します。このスイッチがNORMALの時、出力端子の電圧は9Vです。



## **ペダルボードに関して**

---

エフェクターをPedal Powerに繋ぐ前にペダルボードに関して触れておきます。エフェクターとパワーサプライはペダルボードに取り付けて使用することをお勧めします。木の板や多数のメーカーから販売されているペダルボードなどいろいろと選択肢はありますが、しっかりパワーサプライとエフェクターをボードに固定する事で大切な装備を傷つけることなく運搬でき、ケーブルも痛めることはないのので次のパフォーマンスにも悪影響を及ぼす事はありません。

## **接続**

---

Voodoo Lab Pedal Power 2 PlusのDC出力端子は8口です。全出力端子はバレル型プラグを接続することができます。付属のDCケーブルの片側はバレル型になっています。逆側には同じ黒いバレル型のコネクタ（センターマイナス）か、5.5 x 2.5mmの赤バレル（センタープラス）、3.5mmミニプラグかバッテリースナップです。

エフェクターを繋ぐ前にエフェクターの極性をご確認ください。多くのエフェクターはセンターマイナスで黒いプラグを使用しますが、センタープラスの極性を持つエフェクターには専用のDCケーブルが必要になります。

仕様に合わないケーブルは故障の原因となります。

詳しくは下記、“ケーブルについて”をご参照ください。3.5mmミニプラグを使用する場合、エフェクターの極性は“標準極性”のものにご使用ください。お持ちのエフェクターが9V電池のみに対応している場合もPedal Power 2 Plusのバッテリースナップをご使用することでエフェクターに電源供給をすることができます。

## **DIPスイッチ**

---

Pedal Power 2 Plusの裏面には8つのDIPスイッチがあります。1～8の番号は出力端子ポートの番号に該当し、それぞれ電圧をセレクトする事ができます。NORMALポジション（矢印方向）では9Vの電圧が出力端子に供給されます。

## **出力端子 1～4**

---

DIPスイッチを「ON」に切り替えると12Vを必要とするエフェクターへの電源供給が可能となります。

供給電流はNORMAL時の100mAから60mAになります。

## **出力端子 5～6**

---

DIP スイッチを「ON」に切り替えると 12V を必要とするエフェクターへの電源供給が可能となります。

供給電流は 250mA なので消費電流が高いデジタルエフェクターなどにご使用いただけます。

## **出力端子 7～8**

---

出力端子7と8は9V～4Vの電圧調整（SAG）が可能です。DIPスイッチがONの状態の時、調整ツマミを使って電圧調整を行う事ができます。この機能は電池の消耗具合をシミュレートでき、トランジスタを使用しているエフェクター（ファズやディストーション）で有効に使えます。一方、デジタルペダルへのご使用はお薦めしていません。

## **ショートサーキットプロテクション**

---

Pedal Power 2 Plus の全ての出力端子にはショートサーキットプロテクション機能が搭載されています。DC パワーケーブルのショートやご使用中のエフェクターに不具合があるとき、Pedal Power からの電源供給は一時的に遮断されます。その場合、他の出力端子は通常通り機能します。

## **ボルテージ（電圧）ダブラーとカレント（電流）ダブラーケーブル**

---

2つの出力端子を接続して更に大きな出力を稼ぐ事のできる 2 タイプの Y 字ケーブルがあります。別売りのボルテージダブラーとカレントダブラーケーブルです。直接エフェクターに差し込めるバレル型プラグのものとケーブルが差し込めるアダプターのもの 2 種類あります。

ボルテージダブラーは 2つの出力端子を直列に繋ぐ事で両方の電圧を稼ぐ事ができます。つまり、2つの 9V 出力端子を繋ぐと出力は 18V になり、12V の出力端子 2 つでは 24V となります。ボルテージダブラーを使用しても出力電流は変わりません。100mA の出力端子 2 つを繋げても出力電流は 100mA のままです。一方、カレントダブラーは出力端子を並列に繋ぐので電圧を変えずに電流のみ倍稼ぐ仕様になっています。

## **ケーブルについて**

---

Pedal Power 2 Plus に付属されている DC ケーブルは多種のエフェクターに対応していますが、別仕様のケーブルもご用意しております。詳しくはヤマハミュージックジャパン Voodoo Lab のブランドページをご参照ください。

<https://www.yamaha.com/products/brands/voodoolab/index.html>

## **プラスアース接地のエフェクター**

---

DC 電源で作動するエフェクターのほとんどはマイナスアース設置を取っています。電池やパワーサプライのマイナス極をアースしている接地方法です。しかし中にはビンテージのゲルマニウムトランジスタを使用したエフェクターなどプラス側を接地しているエフェクターもあります。この2種類のエフェクターに電源を供給する場合、電源を完全独立型（アイソレート）にする必要があります。独立型でない電源の数珠繋ぎはパワーサプライをショートさせる可能性があります。Pedal Power 2 Plus の出力端子は完全独立型なのでどのエフェクターを同時に繋げても安心して使用いただけます。

## **センタープラスに関して**

---

多くのエフェクタージャックはセンターマイナスです。中にはセンタープラスのエフェクターもあり、ご使用前にどの DC ケーブルが必要か確認しておく必要があります。ここでは上記で説明したマイナス/プラスアース接地は関係なく、どちらの接地方法でもセンターマイナス、センタープラスの構造を持ちえます。お持ちの Pedal Power 2 Plus に付属されている黒いプラグの DC ケーブルはセンターマイナス用です。同じく同梱されている 3.5mm のミニプラグは標準極性で、このタイプのプラグでは一般的な仕様となります。

## **電源に関して**

---

ここでは Pedal Power 2 Plus がどのエフェクターにご使用いただけるか幾つかご紹介いたします。

9V 電池 1 つで作動するエフェクターの消費電流は 70mA 以下で Pedal Power 2 Plus 本体の DIP スイッチを NORMAL にしておけばどの出力端子でもご使用可能です。

中には AC 電源（交流電源）を必要とするエフェクターもあります。交流電圧のピークは DC（直流電流）に対して 40%ほど高いため、9VAC は 12VDC でご使用ください。

LINE6 Modeler シリーズ

DL4, DM4, FM4, MM4 の入力電圧は 9VAC なので、Pedal Power 2 Plus から 12VDC の出力端子をご使用ください。

もしお持ちのエフェクターに AC 電源のみの指定がある場合は DC ケーブルでのご使用はできません。Pedal Power 2 Plus 背面にある AC アウトレットに接続してご使用ください。

## スペック

---

インプット: 100V 50/60Hz

出力端子: センターマイナス 5.5x2.1mmプラグコネクター

ショートサーキットプロテクション機能

■DIPスイッチ : NORMAL

1-4: 9 VDC - 100mA

5-6: 9 VDC - 250mA

7-8: 9 VDC - 100mA

■DIPスイッチ : ON

1-4: 12VDC - 60mA

5-6: 12VDC - 250mA

7-8: 4V~9VDC - 100mA

本体サイズ : 152x86x45mm

本体重量 : 0.9 kg

特別仕様: トロイダル・パワー・トランスフォーマー、200W ACアウトレット

## 製品の取扱いに関するお問い合わせ先

お客様コミュニケーションセンター ギター・ドラムご相談窓口

営業時間 : 月～金曜日 10 : 00～17 : 00 (土/日曜日・センター指定日除く)

TEL:0570-056-808 (ナビダイヤル) または053-533-5003

URL : <https://jp.yamaha.com/support/>

※都合により、電話番号、名称、営業時間など変更になる場合がございます。

## 修理に関するお問い合わせ先

ヤマハ修理ご相談センター

営業時間 : 月～金曜日 10 : 00～17 : 00 (土/日曜日・センター指定日除く)

TEL:0570-012-808 (ナビダイヤル) または053-460-4830

## 輸入販売元

株式会社ヤマハミュージックジャパン LM営業部輸入商品課

〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

TEL:03-5488-5445